

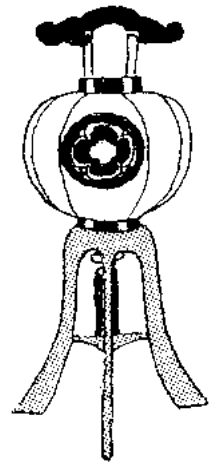
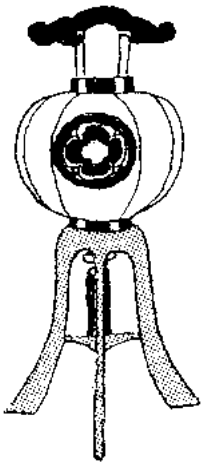


《題字・森神紫陽》

平成19年初盆のお家

喪主	続柄	故人名	命日	享年(数え年)	地区名
廣瀬豊喜	父	松行	18年8月4日	88歳	赤木・堂師
国本成昭	母	ハツエ	11月7日	86歳	白杵・野田
鳴海達男	祖母	ヨネ	11月19日	90歳	蒲江・尾浦
長田文明	母	加代子	11月28日	74歳	直見・園
工藤義弘	母	ミツ子	12月25日	87歳	佐伯・鶴岡
森神喜伴	妻	令子	19年1月11日	73歳	大阪・鶴見
簀戸猪文	妻	貴野枝	1月24日	61歳	仁田原・岸の上
簀戸猪文	父	武	2月6日	93歳	仁田原・岸の上
御手洗晴視	母	マサエ	2月26日	92歳	仁田原・細川内
櫻井淳一	次男	豊	2月28日	27歳	仁田原・岸の上
染矢一也	父	重信	4月1日	78歳	仁田原・柚の原
簀戸展	母	サツエ	4月10日	82歳	仁田原・岸の上
鳴海由久	長男	誠	4月29日	42歳	蒲江・尾浦
工藤哲生	妻	けい子	5月7日	59歳	仁田原・下城
柳井邦宏	母	美代子	6月22日	68歳	佐伯・稲垣
河野宏	母	トミ	6月26日	94歳	延岡・櫛津町
渡邊靖子	夫	幸則	7月9日	69歳	佐伯・中山

7月18日現在



第46号

正定寺花園会広報

平成19年夏発行 発行所 一部単価135円(非売品)

〒879-3104 大分県佐伯市直川大字仁田原 寶林山正定寺内

TEL 0972(58)2190 FAX 0972(58)2192・隠寮0972(58)2195

URL <http://www.saiki.tv/~shoji/> e-mail [shoji@saiki.tv](mailto:shoji@saiki.tv)

住職 寿山士朗

〈家族みんなで読みましょう〉

# ☆平成19年 お盆参りの日程☆

昨年とは日程や地区順が違います。お確かめください。

始まりと終わりの時間は昨年を参照しています。だいたいの目安にしてください。

期 日	日 柄	開始 ～ 終了	地 区
8月1日 (水曜日)	盆入り 路作り盆	9時頃～14時頃	中津留(赤木)⇒立長
8月2日 (木曜日)	塚 日	9時頃～14時頃	岸の上⇒天津留⇒下城
8月3日 (金曜日)	友 引	9時頃～15時頃	椀ヶ原⇒杭の内⇒内水
8月4日 (土曜日)		9時頃～14時頃	大久保⇒萱垣⇒大鶴
8月5日 (日曜日)	煤掃き盆 塚 日	9時頃～14時頃 15時頃～19時頃	市屋敷⇒堂師 間庭⇒江河内
8月6日 (月曜日)		9時頃～13時頃 14時頃～19時頃	新中⇒久留須 佐伯A地区
8月7日 (火曜日)	池替盆(井戸・ 墓掃除)・友引	9時頃～13時頃 14時頃～18時頃	栗林⇒向船場⇒園 学校下⇒神内⇒野の内
8月8日 (水曜日)	立 秋	9時頃～14時頃 15時頃～17時頃	細川内⇒道の内⇒吹原 水口・間⇒弥生
8月9日 (木曜日)	友 引	9時頃～14時頃 15時頃～17時頃	黒岩⇒横川⇒羽木蜷⇒中津留 神の原⇒川又
8月10日 (金曜日)		9時頃～17時頃	上の地⇒柚の原⇒竹の下
8月11日 (土曜日)	花取り盆	9時頃～15時頃	宇目町⇒延岡市⇒日向市
8月12日 (日曜日)		10時頃～16時頃 17時頃～20時頃	畑の浦⇒尾浦⇒鶴見⇒木立 別府市
8月13日 (月曜日)	草切り盆 精霊迎え盆	9時頃～19時頃	大分市⇒臼杵
8月14日 (火曜日)	盂蘭盆 友 引	9時頃～18時頃	佐伯B地区
8月15日 (水曜日)	盂蘭盆 精霊流し	10時頃～12時頃	初盆各家（前ページ参照）
8月16日 (木曜日)	精霊送り盆		

11日～14日の期間に該当する初盆は、この日にお参り致します

※葬儀や天候の都合で日程を延ばす場合は、午前9時までに地区世話人様にご連絡致します。  
雨天の場合は、座敷に上がらず、草鞋・合羽でお参りを致します。(軒先でのお勤めを致します。)  
台風などの延期に伴い14日の地区が16日以降に成ることが有ります。  
又、留守の家は外からお経を上げさせて戴きます。

〈家族みんなで読みましょう〉

## 豊嶽和尚小祥忌（一周忌）

去る6月1日の午後5時から当山22世豊嶽義弘和尚の宿忌（前日法要）及び6月2日の午前11時から半齋（一周忌）が養賢寺黄龍窟老大師の導師により行われ、法類寺院・縁故寺院の焼香を賜り無事に終えることができました。

本来は当山祖師の法要なので檀信徒のみさんにご案内申し上げてご焼香賜るのが慣習ですが、小祥忌は正定寺総代・役員の方々に代表でお参りを頂きました。



### 《正定寺花園会役員名簿》

花園会会長（檀徒総代） 柳井道則  
 花園会役員（檀徒総代） 小野永生  
 花園会役員（檀徒総代） 柳井孝義  
 花園会役員（檀徒総代） 甲斐照光  
 花園会会計・事務局 村西栄二  
 花園会女性部部長（第二部女性部副部长） 矢野侃可  
 花園会女性部副部长 竹下好子  
 花園会女性部副部长 安藤リヨ子  
 花園会女性部会計・事務局 川野久美子  
 花園会青壮年部長（第二部青壮年部部长） 小田木聖孝

### 《正定寺花園会地区世話人名簿》

内水地区	戸高 浅生	枕杭地区	御手洗 哲
岸の上地区	櫻井 米士	上の地区	小野美智治
細川内地区	長田小太郎	柚の原地区	岡田 喜敏
黒岩地区	小野 力	大鶴地区	久保田キヨ工
羽木蜷地区	大竹 良一	神の原地区	鴨尾 利夫
神栗地区	平井 均正	市屋敷地区	柳井 則幸
堂師地区	阿部 英治	野の内地区	後藤 保代
立長地区	安藤 美喜	中道地区	安藤 健辞
吹原地区	高橋 慶太	久留・新中地区	大司 八郎
竹園地区	吉田 禮子	間庭・中津留地区	水久保光夫
江河内・遺蔵地区	甲斐 典昭	尾浦地区	木下保治郎
旧佐伯地区	仲宮 哲男		

花園会会計監査委員 御手洗 哲  
 花園会会計監査委員 阿部 英治  
 女性部会計監査委員 久保田 キヨ工  
 女性部会計監査委員 小野 明美

〈家族みんなで読みましょう〉

# お盆のあれこれ

8月13日

迎え盆  
迎え盆  
草切り盆

8月13日を「草切り盆・迎え盆」と呼びます。  
牛馬を飼っていた頃、日が明けぬ朝早くから野山に出かけ、牛馬のエサ(草)を刈りに行った経験は有りません。  
盆の間は、大切なご先祖さまをお迎えするので牛馬の世話をしなくて済むようにと、たくさんのおエサを蓄えるこの日を「草切り盆」と言います。

迎え火

早めにお墓にお参りして、夕刻になると「迎え火」を灯します。この「迎え火」を門火・庭燎とも言います。  
日没に自宅の門口で目印の松明を焚きご先祖を迎えます。松明の代わりに縁側に提灯を灯すところもあります。  
古くは、提灯に火を灯してお墓までご先祖さまをお迎えに行っていました。間違えて14日にお迎えに行っているお家がありますが、ご先祖さまのお帰りは13日ですよ。

洗い桶

13日の夕刻には、縁側の戸を開けて、帰ってこられたご先祖さまの足を洗うための「洗い桶」を用意します。  
供養されない迷った霊は「お化け」といい、足が有りませんが、ご先祖さまは皆さまから供養されているので足が有ります。翌朝、『洗い桶の水が濁っている』と言うのは、ご先祖さまがお帰りになった証かも知れません。

ご縁

さて、ご先祖さまが縁側から帰って来るには理由があります。みなさんの家で、生涯を過ごす大切な方の出入り口は全て縁側を正式としていたからです。  
みなさんも嫁いでこられた時、縁側から入ってきませんでしたか。  
お嫁さんに出すときも、お嫁さんを迎えるときも縁側を出入り口としていました。  
『うちの娘もご縁があって〇〇家に嫁ぐようになりました』とは、ここから出た言葉なのです。  
生涯をその家で過ごし、人生の臨終を迎えてお亡くなりになった時も、縁側から出棺して浄土へ旅立ちます。

胡瓜の馬

年老いて足腰が不自由で、帰って来るのが遅いご先祖さまもいるかも知れません。そこで、胡瓜に竹の足を付けて馬に見立て、お墓にお供えます。これを「胡瓜の馬」と言います。  
「馬に乗って早く帰って来て」と願う気持ちからです。  
又、どんなに遅い方でも13日中には戻ってこられると言われるので、縁側の戸を閉めるのは13日の夜中12時過ぎ(14日)なのです。

香食

13日の夜中、全員のご先祖さまが戻られた頃、仏壇にお明かりを灯し線香を立てます。  
線香の香りがご先祖さまの最初のおもてなしです。中国では「香食」と呼んでいます。香りが死者の食べものなのです。線香立ての灰もきれいにしておきましょう。  
灯したロウソクが揺らぐと『ホラ! 帰って来られた』と昔の人は言っていました。

8月1日

みちつくりぼん  
路作り盆

8月1日を「盆入り」と呼びます。文字通りお盆の月に入った事を示します。又、お墓や墓道の草切りを始める日なので、「路作り盆」とも言います。  
日本でのお盆は、推古天皇十四年(606年)の7月15日(中元)に行なったのが最初と言われています。現在の日本では、7月盆と月遅れ盆(8月盆)とあり、東日本は7月盆が多く、西日本では8月盆が多く見られます。九州でも宮崎や熊本・沖縄の一部を除いては、8月にお盆の行事を行っています。旧暦の7月15日に行なう地方もあります。

8月5日

すすきはきぼん  
煤掃き盆

8月5日を「煤掃き盆」と呼び、お盆の準備のために、家のスス払いや掃除をします。遠くで働く家族や親戚がお盆には戻ってきます。この日からそろそろお嫁さんは忙しくなります。

8月7日

いけかえぼん  
池替え盆

8月7日を「七夕」・「池替え盆」と呼びます。  
お盆が近づくこの日は、身の回りをきれいにする日とされています。昔から体を清るために沐浴(水浴び)をしたり、髪を洗ったり、牛馬に水浴びをさせたりしました。  
水浴びを「ねむり流し・ねぶた流し」などと呼ぶところもあります。  
青森の「ねぶた祭り」もご先祖を迎える準備として、身の回りの「邪気(睡魔)」を追い払い清める行事です。  
水に流すことで願いを叶える風習は、7月7日の「たなばた」の行事からもうかがえます。  
又、「池替え」とは井戸さらいの事で、井戸の掃除や墓の掃除から仏壇の位牌や仏具まで、きれいに洗い流す日とされています。中国では、墓参りを「掃苔」と呼びます。文字通り墓に付いた苔を取り掃く事です。  
新盆を迎える家は、この日から飾り付けを行います。新盆供養の盆提灯もこの日に間に合うように送ります。

8月11日

はなとりぼん  
花取り盆

8月11日を「花取り盆」と呼びます。  
お盆のお仏壇やお墓にお供える花を準備する日の事です。  
花は「柘・櫛・シキミ」の事です。木偏に佛と書いて「シキミ」・木偏に神と書いて「サカキ」と読みます。仏さまにお供える花は、「シキミ」・神さまには「サカキ」です。「シキミ」を「シキビ」と訛って私たちは呼んでいます。もともと、「シキミの木」は毒性が強く、土葬した遺体を野犬やおおかみ等の野獣から守るために、用いられました。お墓にシキミを供えるのはこうした理由からです。ヒノキなどの新芽を食べる鹿もシキミの新芽は口にしません。毒があることを知っているからです。この日に準備した花(シキミ)を水に浸し、花が充分に水を吸い上げた頃に、仏壇やお墓にお供えると長持ちするとあります。

# 知ってましたか?



## 水の華

なすび等の生野菜・米、小豆などを混ぜた物を「水の華」又は「水の子」と言いお墓に撒いてあげます。餓鬼道に落ちた亡者は、十分な食べ物を与えられず、体は痩せ細り、喉は極端に細くなっていると言われます。喉が細いので「水の華」は、食べやすいように細かく刻んでいます。又、水の華や線香は残っても決して持ち帰りません。ご先祖さまへの供養は、亡き父・亡き母への供物です。持ち帰ると、「もったいない」と言う欲心があるように思われるからです。親への恩返しに損得はありません。昔の人は、『残った「水の華」に餓鬼が付いて来るから』とそれとなく戒めていました。

## 留守墓参り

お盆の間、誰からも供養されない餓鬼がご先祖さまがいない留守の墓に寄りついているので、ご先祖さまの代わりに、浮かばれない霊に供養するのが「留守墓参り」です。自分だけではなく他の人も救いたいと願う心は、お盆の由来そのものの教えです。禪宗では「まず他の人を救い、その功德で自らも救われる」と言う法要が有ります。これを「施餓鬼会」と言います。「情は人の為ならず」の格言と同じです。正定寺も江戸時代は、7月1日～15日の間は施餓鬼棚を設けて供養がなされていたと記録が残っています。現在は月後れの8月1日～15日に各家へのお参りになり、「施餓鬼会」は9月の彼岸に法要がなされています。

## 精霊流し

西方丸と書いた小船に供養の品々を供え15日の深夜に川や海に流す風習を「精霊流し」と言います。ご先祖さまの霊は、「送り盆」の16日夜明けに、東から昇る太陽と共に西の西方極楽浄土に無事にお帰りになると言われています。16日送り盆の夜明け、沖に昇るお日さまに間に合うようにと15日の深夜に流します。直川村では、16日の早朝(夜明け前)にお供えした団子や果物などを川へ木板上に乗せて流すのが一般的です。

## 8月16日

### 送り盆

8月16日を「送り盆」と言います。15日に送る家もありますが正式には16日です。

## 茄子の牛

茄子に竹の足を付け牛に見立てて仏壇に飾ります。これを「茄子の牛」と言います。牛に乗って「ゆっくり戻って下さい。」と別れを惜しむ風習です。

## 土産の団子

浄土へお戻りになるご先祖さまの「土産の団子」は、少しでも多く持ち帰りが出来るようにと、平らに作ります。丸団子では積み重ねが難しいからです。又、多く担げるようにと「じがるい豆」と言う細長い豆もお供えします。この豆は、束ねたり又担ぎ籠の縄となるように持たせます。

## 送り火

16日の日没にお墓で松明を灯します。この火を「送り火」と言います。ご先祖がお帰りになる場所を示す目印の明かりです。歩くのが遅いご先祖さまも日が沈む頃には無事にお帰りになると言われています。京都の大文字焼きは「送り火」の事です。これで、3泊4日の里帰りが終わります。

〈家族みんなで読みましょう〉

## 盂蘭盆

### 8月14日・15日

8月14日と15日を盂蘭盆と言います。

「盂蘭盆経」と言うお経の中には地獄(餓鬼道)に落ちて苦しむ母を救うために、僧侶のお経と「飯・百味・五果」などの馳走を棚にそなえ、その功德を以て救われたと説かれています。地獄での苦しみは、まるで「逆さ吊り」にされているような苦しみ(倒懸苦)と言われ、この「倒懸苦」をインドの言葉で「ウラバーナ」と言います。「盂蘭盆・うらぼん」の語源です。私が修行道場にいた頃も、4月15日から7月15日迄の3ヶ月を雨安居と言い、その終わりの日(7月15日)を「僧自恣の日」と呼び、寺院では「施餓鬼会」が行われます。お盆の行事はこの仏さまの教えが基になっています。

## 精霊棚

お盆は特別に「精霊棚」を飾ります。「精霊棚」は、仏間の縁側に掛けていました。この棚を「施餓鬼棚」とも言います。和尚さんは「精霊棚」に向かって「お施餓鬼」のお経を唱えます。今でも、お盆に和尚さんがお参りすることを「棚経」と言います。皆さんの中には、この「施餓鬼棚」でお迎えしていた頃を覚えている人は有りませんか。納屋の隅にこの「施餓鬼棚」がある家はありませんか。お盆の正式な祀り方は、「施餓鬼棚(精霊棚)」を縁側に飾り付けるものでした。

## 生霊供

生霊供の材料とは、なすび・トウキビ・瓜・生米など火を加えなくては食べられないものです。

これは、餓鬼道に落ちた者は、「食する物が全て火になる」と言われ、生米などの生の穀物を口にするとう口元で火が加わりちょうど食べ頃になると言われるからです。餓鬼はいつも口の中が燃えさかり、ノドが渇くとされています。水の力で「邪気を洗い流す・水で炎を消す・水でノドの渴きを治める」ところから、精霊棚には水が注がれた大きな器が備えられて、水が散けるようになっています。又、この水を「アカ(伽伽)」と言います。中国の言葉で「供養」と言う意味です。お墓に水を散くのもこうした理由があるからです。

## お供え

お供えは、年忌法要の時と同じように「お霊供膳」・「団子」・「菓子」・「菓物」・「茶」・「湯」・「水」と共に、特別に灯籠提灯に見立てて「灯籠菓子」・「ホウズキ」、又畑で採れた「なすび」・「カボチャ」・「トウモロコシ等々」をご先祖さまに感謝を込めてお供えします。

# 報恩写経のお願い

## 開山無相大師650年遠諱大法会

来る平成21年に私たちのご本山である妙心寺のご開山・無相大師さまの650年遠諱が行われます。全国3400ヶ寺の檀信徒が一同に写経納経のご縁を賜りました。正定寺では1檀家1巻を目標に全檀信徒300巻をお願いしたいと思っています。

前回までの写経は昔さまの代わりに篤志の檀信徒が行って来ましたが、今回は50年に一度のご遠諱です。この法縁にみなさまが、すべからく平等にご供養できる報恩写経でありたいと願っています。「人身受け難し、今すでに受く」と云うお釈迦さまの言葉があります。写経の最後にある「右為」には亡き人の菩提やご家族の祈願を書き記すことで「人身受け難し、今すでに受く」を感じて「報恩（恩にむくいる）」の意味を次の世代へも伝えたいと思っています。檀信徒のみなさんには、是非お世話を頂く花園会世話人さまに、ご協力を頂きご本山に全檀信徒の「報恩写経」を納めたいと思っています。

## 写経奉納の流れ

### 和光同塵

写経がどうしてもムリだと云う檀家さんがいる地区は、世話人さんが地区内の檀信徒やご家族にお願いで地区檀信徒数の巻数だけは必ず納経してください。  
尚、千円の供養料はお受け取りください。以前のように世話人さんが立て替えたり負担すると報恩写経の供養という意味合いがなくなってしまうので。

地区名	目標巻数	地区名	目標巻数
内本	9巻	神奥	17巻
船越	18巻	古屋敷	10巻
岸の上	19巻	五郎	14巻
上の地	16巻	野の内	5巻
瀬川内	10巻	立坂	12巻
柿の原	14巻	中道	11巻
黒石	5巻	吹原	6巻
大輪・萱刈	19巻	九留積・新中	20巻
羽本橋	4巻	竹園	10巻
神の原	9巻	間道・中津留	8巻
江内河・道地	12巻	尾橋	19巻

檀信徒のみなさん

### 2種類の写経用紙

2種類の写経用紙をお配りいたします。  
1つは「般若心経」・もう一つは「無相大師遠諱」です。  
どちらか希望の写経用紙を選んでください。  
(両方とも希望の方は供養料2千円で)

### 2種類の写経用紙の選び方

- ◆「般若心経」は中学生から大人まで書けます。
- ◆「無相大師遠諱」は小さな子供さんやお孫さんでもなぞって書くことができます。

### 体が不自由な方

地区で目が不自由だったり手届が不自由な方の写経は正定寺が代筆いたします。  
千円の供養料は世話人さんがお受け取りになって正定寺へ氏名・祈願を知らせ下さい。

### 生活が困窮している家庭

渡持金と同様で今まで通り世話人さんの判断をお願い致します。写経を希望する家庭ではぜひ写経をお願いしてください。供養料（千円）は正定寺が負担致します。

### 直川地区以外の檀信徒その1

お盆に和尚さんがお参りする檀家さんの場合は、和尚さんがお参りする日までに写経をすませて、お配りした封筒に供養料（千円）を入れて和尚さんにお渡しください。

### 直川地区以外の檀信徒その2

遠方の方は「9月22日」までに写経をすませて供養料（千円）と共に郵送してください。

### 直川地区以外にお住まいの跡取り

佐伯地区にご両親がお住まいで承継者が遠方にお住まいの方は、ご両親に代わって写経をお願い致します。

又、そのことをご両親あるいは地区の世話人さまにお伝えください。

### 2巻以上の希望者

複数枚の写経用紙を希望の方は世話人さんか正定寺へお知らせください。  
写経用紙があります。  
一人で10巻以上納経された方には本山から記念品が贈られます。  
又、50巻以上は「写経セット」  
100巻以上は「管長直筆巻紙」  
200巻以上は「管長直筆巻紙」

### 50巻以上の場合

※50巻以上の場合は平成21年の9月までに正定寺へお納め下さい。

9月22日

写経を乗えましたら千円を添えて世話人さんにお届けください。  
(世話人さんが留守の場合は正定寺でも結構です)  
納経の締め切りは9月22日です。  
みなさまが奉納した写経を「秋の彼岸法要」で供養した後に、京都ご本山へお納め致します。

〈家族みんなで読みましょう〉

## 写経の作法と心得



### 祈願や菩提を書き入れます

◆書き終わると最後に為書き(行間)があります。  
 「右の写経は～の為に書きました」  
 「右の写経は～の願い事を為します」と云う意味です。  
 ※為の意味は「～の為(ため)」「～を為(な)す」と読みます。

この【○○○○○】の所には  
 「お願い事」や「供養の言葉」を入れます。

- 例: 家族が健康でありますように
- 例: おじいちゃんのおぶとがなおりますように
- 例: 勉強ができるように
- 例: ○○院○○○居士(戒名)
- 例: ○○家先祖供養
- 例: ○○家 家内安全や厄除開運など

右為  
 ○○○○○○  
 菩提祈願

### 最後の仕上げ

- ①【〒 住所 】の所はあなたの住所を書き入れます。 例: 佐伯市直川仁田原大字上の地
- ②【氏名 】は写経を書いた本人の名前を書き入れます。 例: やまだりえ(八さい) 例: 山田平蔵 例: 中田翔太(中二)など
- ③氏名の下にある【拝写】の字をなぞって写経が終わります。

写経とはお釈迦様が説かれた教えを書き写す事です。  
 紀元前一世紀頃、それまでは口伝によって伝えられていた教えが、インドではじめて貝多羅葉(ばいたらよう)という木の葉に書写されました。  
 文字で書かれた経典は、その後各地に伝わります。二世紀頃には中国の漢訳も始まり、本願印刷が盛んになる十世紀中頃までの間、多くの経典が漢訳され、写経されました。日本には、天武天皇の674(白鳳2)年に「書生を集めて一切経を川原寺において写さしむ」と「日本書紀」に記されています。これがわが国最古の写経だといわれます。  
 「般若心経」は32文字です。数あるお経の中で最も短いお経の一つです。その「般若心経」の基になった教典が六十億四千万字の「大般若経」です。このご縁にぜひ心を落ち着けて教典に復しんでください。

〈家族みんなで読みましょう〉

## 檀信徒へのお知らせ

### 【平成19年度世話人総会】

六月九日午後七時より「平成19年度定例世話人総会」が行われました。

平成18年度事業・決算及び平成19年度事業計画・予算の審議をはじめ「和合寺吸収合併」及び「豊嶽和尚津送・新忌齋の決算」・「本山開山650年遠諱報恩写経」の報告説明を行いました。

今年度は檀信徒350家の皆さまに平成二十一年のご本山開山無相大師六百五十年遠諱の法縁に合せて報恩写経をお願いするはこびとなりました。詳しくは世話人さまを通してご案内申し上げます。

### 【平成19年度

### 花園会女性部総会】

6月10日午後三時より檀牌堂で「献茶会」が行われ、檀信徒より供養されました新茶をご先祖さまに差し上げる法要が行われ、引き続き「平成19年度花園会女性部総会」が行われました。平成18年度事業・決算及び平成19年度事業計画・予算の審議をいたしました。

女性部の会員には秋に行われます「開山無相大師六百五十年遠諱」の事前法要にご参加していただく計画や報恩写経で写経供養を行いたくても叶わない体の不自由な檀信徒の力になれるお世話をお願いしました。



合併吸収手続きの公告



朽ち果ててなおざりになっていた和合寺への調査



平成十九年度花園会女性部総会



九月二十一日は山門大施餓鬼



〈家族みんなで読みましょう〉





料理店にて久保田栄一と妻 久子

## 千の風になつて

久保田 栄一（東京都港区在住）

故郷直川村を出奔して、早や五十年近くの歳月が流れました。高層ビルの陰に暮れゆく大都會の夕焼け空を眺めていると、想いだすのは故郷直川の山川であり、郷里の山懐に囲まれた墓地で、静かに眠っている父や母の面影です。「どげえしたさい直川を出て行つたんかえ？」「飯が喰えんきい仕方なかつたんじやよ。今覚えば都會への憧れもなんぼかあつたんじやろうなあ」

真珠湾攻撃の年に百姓の三男坊として生を受けた私は、長じても耕作すべき田畑も分けて貰えるはずもなく、自らの運命は自ら切り開かねば生きる術はなかった。多少《運》があつたとすれば、世の中が、高度成長期の始まりの時代だった事だ。働く気がありさえすれば、仕事は何んぼでもあつた。東京でせっせと働き、盆暮れに急行《高千穂》に乗ってふるさと直川に帰省して、両親、兄弟姉妹そして友達に会うのだけが唯一の楽しみだった。その度に、先祖の墓参りだけは欠かさなかつた。法事のため帰省することもあつたので、正定寺の先代和尚（豊嶽）にお経をあげてもらつた機会も多くあり、杉山や山茶花の垣根に囲まれた先祖の墓地にはことさらに、線香の香りと共に親しんできた。

最近、巷では、《千の風になつて》という唄が流行っている。

私のお墓の前で泣かないでください

そこに私はいません

眠ってなんかないません

千の風に 千の風になつて

あの大きな空を 吹き渡っています

格調高い調べに乗せて、鍛え上げたテノールで朗々と謳いあげている。私もこの歌が好きで心から感動もする。一方で、商売として墓石を生業とする人々に影響はないのだろうか？と余計なことも考える。

「人間の肉体と魂は、死後の世界ではどうなるのか？」まだ経験のない私には分らない。肉体は、土葬すれば何時かは土に還ると思われている。火にあぶられて粉塵になつた我が化身は、事情さえ許されれば、郷土の久留須川に散骨され、魚の餌にでもなれば本望である。死後の世界では、我がご先祖様と同じように、故郷直川の発展と村民の健康とを願いながら、遠い雲の割れ目から「ああ直川が見える！仁田原が見える！」と涙交じりに叫んでいるのだろうか。

いつの日にか、いつの日にか《千の風になつて》大自然の恩恵を受ける村人の生き様を、やさしく見守りたいと願つてやまない。

### 頂相(ちんそう)

正定寺には歴代の祖師(和尚さん)の木像や軸に描かれた頂相が多く残っています。

一般の肖像画や遺影にあたり、正定寺の開山和尚(初代)の木像から先々代千巖和尚の頂相まで江戸時代を中心に多く描かれています。

この頂相にならってご先祖さまの肖像画を掛け軸にしてお祀りする廣瀬家(堂師)・小野家(内水)などの旧家の檀信徒もあります。

禪宗では、法系血脈(ほうけいけちみやく)を重視することから、入宋の留学僧や宋からの渡来僧によってもたらされた宋画風の頂相が描かれるようになりました。

頂相には、全身像または半身像がありますが、曲糸(きょくそう)や法被(ほっす)をもち、ゆつたりとする形式で描かれています。昨年遷化致しました豊嶽和尚も一年半をかけてできあがりました。

この後は養賢寺老師に讃をお願いして表装を施して来年の春には歴代和尚の頂相として受け継がれて参ります。

#### 描き終えた第二十二世豊嶽和尚頂相



#### 豊嶽和尚遷化把住・放行

把住合計

壹千九百四十七千参百九拾八圓

放行合計

壹千七百四拾四万四百五拾貳圓

残金

壹百六拾万六千九百四拾六圓

【把住詳細】

津送積立金(簡易生命保険)

六百五拾壹万六千参百九拾八圓

寺族支度金

貳百圓

津送一般香資(五百五十七名分)

(檀信・知人・親族含む)

五百九拾壹万六千圓

津送寺院香資(五十八ヶ寺院分)

参百九拾七圓

新忌齋香資(四十八名分)

(檀信徒・知人・親族含む)

六拾四万五千圓

【放行詳細】

供応(香典返し・お斎等)

六百貳拾五万八千四百五拾参圓

整備費(租塔整備・襖・白壁等)

五百七拾五万五千壹百参拾貳圓

法要費(葬祭具等)

七拾万九千貳百五圓

通信費(送料・印刷・はがき等)

壹拾貳万四千八百参拾圓

備品(筆・受付文庫等)

壹拾壹万貳千八百貳拾四圓

雑費(タクシー代・清掃費等)

壹拾参万八圓

寺院小謝(延べ寺院百七十七ヶ寺)

四百参拾五万圓

先の世話人総会でご報告申し上げました豊嶽和尚の法要収支です。残金は頂相費用に充てられます。祖師として立派な葬送を行っていただき、檀信徒のみなさまには感謝申し上げます。

遺弟 寿山

#### 第二十一世千巖和尚頂相



#### 第十七世雄峯和尚頂相



#### 第十六世珍宗和尚頂相



#### 開山利翁和尚木像



#### 第二十世鐵山和尚木像



頂相とは別に讃もある